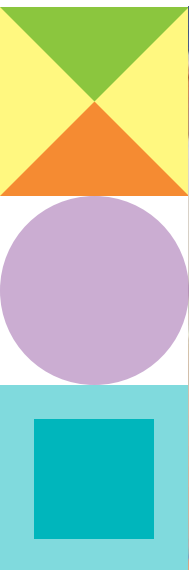


AEON

株式会社イオンファンタジー

証券コード：4343

Aeon
Fantasy



AEON Fantasy Report

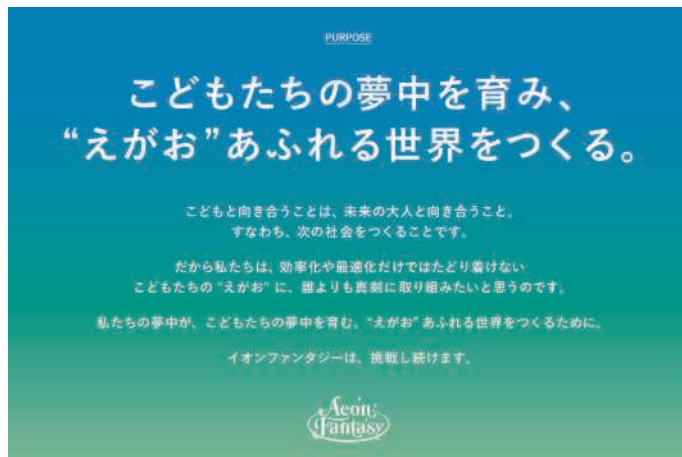
第27期 中間株主通信

2022.3.1 - 2022.8.31



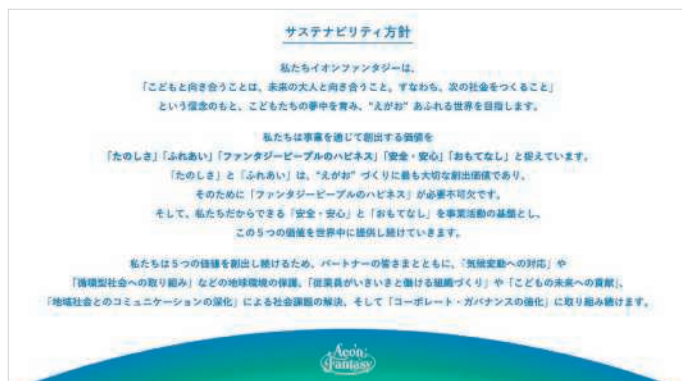
「パーパス」・「サステナビリティ方針」の制定について

「パーパス」の制定について



当社では、社会や子どもを取り巻く環境変化をもとに、企業に求められる社会的役割について検討を重ね、創業以来大切にしてきた社是を、より社会的存在意義への想いを加えた「パーパス」へ昇華させました。「パーパス」の制定にあたっては、創業者や従業員の想いをベースに、現経営陣で何度も議論を繰り返し、「こどもたちの“えがお”」を私たちの社会的存在意義の中心に位置づけました。今後は、これまでの社是に代わって「パーパス」を当社の最上位概念として、その実現に向けたあらゆる事業活動を進めてまいります。

「サステナビリティ方針」の制定について



当社は現在展開中の中期経営計画において、企業活動の中核としてサステナビリティ経営を進めていくことを掲げています。また2022年4月には、東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、最上位のプライム市場へ移行しました。このような状況のもと、当社はこの度、サステナビリティ経営のガイドラインとなる「サステナビリティ方針」を制定しました。今後は、持続可能な社会への貢献と企業価値向上を実現する企業を目指し、具体的取り組み内容と数値目標を定め、サステナビリティ経営の実効性を高めてまいります。



“えがお”あふれる世界へ。これまでも、そして、これからも。

当社のパーパスは、創業者・従業員・経営者の三者が持っているそれぞれの想いをベースにつくられています。

ファミリーと一緒に楽しめる室内ゆうえんちという創業者の斬新なアイデアは、こどものえがおをつくり、業界の予想を遥かに上回る反響をもたらしました。創業から35年目を迎えた今も、こどものえがおは当社の揺るぎないテーマとなっています。そして、パーパス制定に先立ち実施した仕事の価値に関する従業員アンケートの結果から、「えがお」や「つながり」といった提供価値、「地域貢献」や「思いやりのある世界」といった社会的価値が見出され、こどものえがおを追求することを通して実現する社会貢献こそ我々の存在意義である、という経営陣と従業員の想いがつながりました。また、こどものえがおを大切にし、お客さまからの「ありがとう」というお言葉を働きがいとするファンタジーピープル*によって、当社が成り立っていることも再認識できました。

*イオンファンタジーで働くすべての人々

私たちは日々、安全・安心な環境で楽しい時間や体験を提供し、こどもたちやファミリーをえがおにしています。私たちの仕事は、こどもがこどもらしくいられる社会をつくり、未来の社会をつくっていくことです。今のこどもたちと向き合うことは、未来の大人と向き合うことであり、既に次の未来づくりに関わっているとも言えます。

このたび制定したパーパスは、えがおあふれる世界をつくるための道しるべとし、こどもたちのえがおを絶やさぬよう、当社はこれからも挑戦を続けてまいります。

代表取締役社長

藤原 徳也



イオンファンタジーのパーパス動画を公開

当社は「パーパス」の制定へ込めた思いをYouTubeにて公開しております。ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=IA3M7sZC3ls>



イオンファンタジーのサステナビリティ

当社はサステナビリティ経営を掲げ、方針等を公開しております。ぜひご覧ください。

<https://www.fantasy.co.jp/company/sustainability/>



当第2四半期連結累計期間の事業状況

当社は2022年4月に、「こどもたちの夢中を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。」というパーパスを制定いたしました。同時に、サステナビリティ方針も制定し、持続可能な社会への貢献と企業価値向上の実現に向け、事業活動を推進しております。

当第2四半期連結累計期間(2022年3月1日～2022年8月31日)における当社及び連結子会社の連結業績は、売上高が350億79百万円(前年同期比24.4%増)となりました。営業利益は2億96百万円(前年同期営業損失25億79百万円)、経常利益は13億31百万円(前年同期経常損失28億62百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億16百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失35億1百万円)となりました。各国為替レートが円安に進み、為替差益を連結経常利益に12億58百万円計上しております。連結業績における営業利益は前年同期から28億76百万円、経常利益は41億94百万円と大幅な改善となりました。

国内事業は好調なプライズ部門が引き続き業績を牽引いたしました。アセアン事業は各国、堅調に推移しております。中国事業はゼロコロナ政策による行動規制が継続し、厳しい経営環境となりました。

店舗数については、当第2四半期連結累計期間での新規出店60店舗、閉店19店舗となり、2022年8月末時点で国内549店舗、海外432店舗、合計981店舗(直営店971店舗、FC等10店舗)となりました。

国内事業

国内事業は第1四半期会計期間より順調に回復しておりますが、全国的に新型コロナウイルスの感染者が大幅に増加

した7月下旬から客数が減少傾向となりました。営業面では時短営業を余儀なくされる店舗が一部で発生するなどの影響も受けましたが、8月中旬より徐々に回復基調となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間の営業利益は7億64百万円となり、前第4四半期連結会計期間から3期連続で黒字を確保しました。第2四半期連結会計期間における営業利益の黒字化は3年ぶりとなります。主力のプライズ部門では、映画関連商材や当社限定景品が堅調に推移し、同部門の当第2四半期連結累計期間の売上高既存店前年同期比116.4%と全体の売上を牽引いたしました。出店を加速させているカプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO」は、当第2四半期連結累計期間において新規に30店舗出店し、累計店舗数は111店舗となりました。同期間におけるカプセルトイ部門の売上高前年同期比は170.3% (2019年同期比541.3%)となり拡大を続けております。フルデジタル化の取組みとして強化している当社の会員制度「モーリーフレンズDX」は会員数が56万人を突破いたしました。

当第2四半期連結累計期間は、モーリーファンタジーを5店舗出店、その他カプセルトイ専門店とプライズ専門店を計39店舗新規出店する一方、不採算店舗等10店舗を閉店し、2022年8月末ではFC1店舗を含め549店舗となりました。ニトリモールに初出店するなど、イオングループ外物件への出店を強化しております。

以上の結果、国内事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高283億82百万円(前年同期比19.7%増)、営業利益8億8百万円(前年同期営業損失15億95百万円)となりました。

中国事業

中国事業はゼロコロナ政策による厳しい行動規制が継続しており、国民の外出自粛の影響を受けた結果、客数の回



復には至らず当第2四半期会計期間の売上高既存店2019年同期比は58.3%と厳しい結果となりました。新規の取組みとして、「遊び×運動」をテーマにした「茉莉游育運動館」を武漢にオープンいたしました。中国では子どもの運動不足が社会問題化し受験の科目に体育が追加されるなど、運動に対する保護者のニーズが高まっており、好調な業績でスタートいたしました。新規の取組みとして、TikTok等のSNSの動画を視聴しながらそのまま商品を購入できる販売方法が中国国内で急速に拡大している背景から、当社のアプリを使用したライブ販売を開始いたしました。

当第2四半期連結累計期間においては、直営3店舗、FC1店舗を新規出店する一方、不採算店舗等6店舗を閉店し、2022年8月末の店舗数はFC6店舗を含め197店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高26億13百万円(前年同期比34.6%減)、営業損失11億96百万円(前年同期営業損失4億69百万円)となりました。

アセアン事業

アセアン事業では、過去最高益となった第1四半期会計期間からのトレンドが継続し堅調に推移いたしました。当第2四半期連結会計期間の営業利益は3億52百万円となり、前第4四半期連結会計期間から3期連続で営業利益の黒字を達成いたしました。第2四半期連結累計期間としても過去最高益となりました。フィリピンでは当第2四半期会計期間の売上高は5億96百万円、売上高既存店2019年同期比128.2%と好調で、営業利益は1億73百万円となりました。フィリピンの他、マレーシア、インドネシア、ベトナムの計4カ国で営業利益は黒字となりました。規制緩和が遅れていたタイも、利用時間制限を解除したことで客単価が向上し、順調に回復し

ております。新規の取組みとして、マレーシアではカプセルトイ専門店を8月に1店舗オープンいたしました。海外でのカプセルトイ専門店の出店は初となります。

当第2四半期連結累計期間は、12店舗を新規出店する一方、不採算店舗3店舗を閉店し、2022年8月末の店舗数はFC3店舗を含め235店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高40億84百万円(前年同期比663.1%増)、営業利益6億85百万円(前年同期営業損失5億13百万円)となりました。

通期の見通し

通期の業績見通しにつきましては、売上高789億円、営業利益26億円、経常利益17億円、親会社株主に帰属する当期純利益4億円を予定しております。また、1株当たりの配当金につきましては中間配当金を5円、期末配当金を15円、年間合計20円を予定しております。今後とも株主の皆さまの一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結業績予想

(単位：百万円)

	2022年2月期 (第2四半期)	2023年2月期 (第2四半期)	2023年2月期 (通期予想)
売上高	28,193	35,079	78,900
営業利益	△2,579	296	2,600
経常利益	△2,862	1,331	1,700
親会社株主に 帰属する当期純利益	△3,501	△316	400

トピックス

カプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO(トイズスポットパロ)」 国内100店舗達成

カプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO」は、清潔で安全・安心な空間に、お子さまから大人まで楽しめる豊富な種類のカプセルトイを取りそろえ、「見てワクワク、回してワクワク、開けてワクワク」とココロはずむ「?」をお届けする専門店です。6月には、国内累計100店舗目となる近江八幡店がオープンしました。同店では、当社限定のオリジナル景品や完全キャッシュレスのオリジナルカプセルトイマシン「かぐえぼ」など、トレンドにマッチした商品とサービスを展開しています。



「よくばりパス」 さらに遊びやすく!

「よくばりパス」は、30分500円・60分1,000円の定額で様々なゲーム機を遊ぶことができる日本初のおトクなサービスです。また、カードリーダーにカードをかざすだけのカンタン操作に加え、今まで体験したことのないゲームにも定額内で安心してチャレンジできることから、導入以来、大変ご好評をいただいております。現在、専用案内カウンターの併設や対象機を集め視覚的にわかりやすくコーナー化するなど、「よくばりパス」をさらに遊びやすくする刷新を進めております。



「遊び×運動」をテーマとした新業態 「莫莉游育運動館(モーリー游育運動館)」 中国武漢市にグランドオープン

子どもたちの運動不足が社会問題化する中国では、高校受験の必須科目に体育が追加され、子どもに運動をしてほしいという親のニーズが高まっています。当施設では、当社が独自開発したイベントプログラムを通じて楽しく運動することができます。またデジタルセンサーが動きを計測し、その記録を専用アプリに蓄積することで、子どもの成長過程を見返すこともできます。遊びと運動の融合、そして運動能力の記録と成長を体感できる機能によって、中国の社会的ニーズだけでなく、子どもたちの健やかな成長を願う保護者の普遍的な想いに応えてまいります。



「ゲームカレッジ^{レベルキユウキユウ} Lv.99」プログラムを 「マイスクール@はんなん」で提供開始

考えるチカラをゲームで伸ばす「ゲームカレッジ Lv.99」のゲーム学習プログラムを、障がいのある児童が学校後や長期休暇中に通う放課後等デイサービス「マイスクール@はんなん」にて提供開始しました。この度の提供開始を通じ、障がいのある子どものエデュテイメント体験・インクルージョンを進める体験の提供を目指します。



考えるチカラを、ゲームで伸ばす。

ゲームカレッジ
Lv.99



あたまもこころも成長する子ども向け運動教室 「ビヨンド」岐阜県岐阜市「マーサ21」にオープン

2022年7月、2店舗目となるビヨンド岐阜店がオープンしました。「あたまもこころも成長する基礎運動教室」をテーマに、あらゆる運動のベースとなる「基礎運動」のスキルを運動の指導者のもと安全に、楽しみながら身に付けられる施設です。オープンを記念して開催した「オープン特別モニター体験会」では、数多くのお子さま・保護者さまにご参加いただきました。

キャラクター特化型プラットフォーム「キャラis(イズ)」開始

「キャラis」は、「キャラクターを描きたいクリエイター」と「キャラクターが欲しい人」をつなぐ、キャラクターが大好きな当社ならではのwebサービスです。クリエイターにキャラクター特化型の投稿プラットフォームを提供し、クリエイターとキャラクターを求める企業をつなぐマッチングサービスと、キャラクターのプロモーション活動を行います。



全国のモーリーファンタジー・PALO 225店舗に 店舗接客DXの『デジちゃんむ』を一斉導入

店内に設置された呼び出し用の二次元コードを使い非接触で店員を呼び出せる『デジちゃんむ』は、スタッフを探すお客さまの手間時間を省略し、店舗側ではお客さまのご用件に速やかに対応できるなど、お客さまの顧客体験向上を実現しながら様々な省力化を生んでいます。

特集

対談

社長
×
担当社員

お客さまと従業員を えがおにするために

当社はパーパス及びサステナビリティ方針のもと、重要課題への取組みを推進しております。当上半期の取組み・今後の成長へ向けた意気込みについて今回、社長と社員の皆さんで語り合ってもらいました。



商品本部
メンテグループ
機械管理マネジャー
笹川 泰志

商品本部
マシングループ
グローバル商品
マネジャー
萬関 未来

代表取締役社長
藤原 徳也

戦略本部
サステナビリティ
推進グループ
ゼネラルマネジャー
田中 咲

人事総務本部
人事グループ
ジョブサポートマネジャー
企業在籍型ジョブコーチ
岡 真三

社員主導の取組みが店舗づくりや 商品開発にも生きています

藤原社長：当社ではパーパスとサステナビリティ方針を制定し、当社の社会に対する存在意義を明確化しました。その後の具体的な取組みの多くは、社員一人ひとりが自発的に進めており、これはイオンファンタジーらしさ、当社の強みであると感じています。このように社員主導の取組みは店舗づくりや商品開発にも生きており、地球環境の保護を課題に掲げる取組みの一つである、全国店舗での省エネがその一例です。
笹川：2022年8月末に全国428店舗で蛍光灯使用のゲーム機24,645台のLED化作業が完了しました。LEDはコスト削減につながるだけでなく、発熱が少なくゲーム機内の温度の上昇を2~3℃抑制するなど、快適な店舗環境づくりにもつ

ながります。

萬関：当社のメンテグループは電気工事士の資格取得者がほとんどで、機械修理はもちろん、遊戯機械開発の際にもアドバイスをもらっています。

笹川：全国各地に65名の電気工事士がいるメンテナンス部隊は当社の強みであり、工事の内製化によるコスト削減だけでなく、電気系統の点検など仕事の幅も広がりました。

藤原社長：資格取得に関しては各社員が仕事に誇りを持って、自発的に取得に取り組んでいます。社員主導ということ、最初に萬関さんから「ぐるぐるリサイクルん」のアイデアを聞いた時にはそのユニークさに驚きました。

萬関：キッズ向けアーケードゲーム「ぐるぐるリサイクルん」はエデュケーション(まなび)とエンターテイメント(あそび)を融合したエデュテイメントというコンセプトで開発した



ゲーム機で、玉入れ遊びをしながらゴミの分別も一緒に学べる、環境保全をテーマとした遊戯機械です。この「ぐるぐるリサイクルん」は今年の7月に大阪府豊中市のお祭りイベントにも出展しました。実際にイベントで親子が楽しそうに学びながら遊ぶ様子に、開発時に込めた思いが子どもたちに伝わっているのだと非常に感動しました。

藤原社長：“あそび×まなび”は当社ならではの視点であり、そこをご評価いただき社外に活躍の場が広がったのは嬉しいことでしたよね。

従業員が働きやすく、活躍できる環境をつくり、ダイバーシティ経営を進めています

田中：サステナビリティ方針実現に向けた重要課題の一つに「従業員がいきいきと働ける組織づくり」を掲げています。当社では2014年からダイバーシティを推進する委員会を立ち上げ取り組みを進めています。2022年3月には「健康経営優良法人2022」、子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得しました。独自の制度として、全従業員を対象にした「ハグくみ休暇」「ドナー休暇」を導入。特にこの「ドナー休暇」は従業員からの提案で生まれました。

藤原社長：定期的に従業員たちとの意見交換の場を設ける中で、あるスタッフの方から骨髄提供するための有給休暇制度を提案され、設立した制度ですね。

田中：同様に男性の育休取得を促す「ハグくみ休暇」も導入しましたが、今後は制度が使いやすい風土づくりなどにさらに取り組んでいきます。

岡：私は障がい者の活躍の場を広げる観点でダイバーシティを推進しています。取り組みが進んだ契機は2017年3月に各部署の“お困りごと”をサポートする「ジョブサポート」という

障がい者雇用スタッフで構成する専任部署の立ち上げでした。現在では全社で138名、本社では44名の方が人事、総務、経理、広報など様々な業務に携わっています。次のステップとして障がい者の方がチームのリーダーとしてチームを取りまとめ、支えあう姿へ移行していきます。

今後のさらなる成長に向けて

岡：民間企業に対する障がい者雇用の法定雇用率は2.3%ですが、当社は今年6月で障がい者雇用率3.01%を達成しました。今後はさらにサービス業界でNo.1の障がい者雇用率を目指し、誰もが自分らしく働ける会社づくりへ取り組んでいきます。

田中：子どものえがおの源泉となる従業員のえがおのために働きやすい職場づくりを進めると同時に、多様な従業員の声をビジネスに活かし、ダイバーシティ社会を目指していきたいですね。

笹川：メンテグループでは引き続き店舗照明のLED化に取り組んでいきます。照明一つでもお客さまの心地よさが変わるため、それぞれの仕事を丁寧に、気持ちの良い店舗づくりを行っていきます。

萬関：気候変動問題などSDGsをテーマとした商品開発にも挑戦しながら、来店する子どもたち、ファミリーの皆さまと今後も良好な関係づくりに注力いたします。

藤原社長：当社はお客さまの一番近くにいる企業だからこそ、様々な社会課題を咀嚼し、ビジネスに取り入れ、社会に還元するという当社ならではの価値の循環をこれからも目指してまいります。



環境への取組み

全国428店舗で蛍光灯使用ゲーム機全台の照明をLED化
省電力で環境に配慮

店舗運営で発生する電力を削減・省電力化し、より環境に配慮した店舗の運営体制づくりと持続可能な事業展開を目指して、全遊戯機械をLED照明に変更しました。なお、当工事は専門資格をもつ社内スタッフで内製化し、安全・確実にまた外注コストが発生しない形で実施しました。



キッズ向けアーケードゲーム「ぐるぐるリサイクルン」を
大阪府豊中市のお祭りに出展

「ぐるぐるリサイクルン」は、ごみの分別・リサイクルという身近な環境問題に子どもたちが楽しくアプローチできるゲームです。同ゲーム機が地域のイベントに出展されるのは、全国で初めてのことです。また、当日の売上金は市の地球温暖化防止基金に寄付されました。

働きがいと多様性を重視した取組み

優良企業認定制度を取得

当社は子育てサポート企業として、「くるみん認定」[健康経営優良法人2022]を取得しました。これからお客様へえがおをお届けするファンタジーピープル(イオンファンタジーで働くすべての人々)が働きやすい職場環境づくりを行ってまいります。



新休暇制度「ハグくみ休暇」「ドナー休暇」導入

「ハグくみ休暇」は、配偶者が出産した際に取得できる年間付与日数外の有給休暇、「ドナー休暇」は、骨髄または末梢血管細胞の提供をする際に取得できる特別休暇です。



社会への取組み

ファンタジースマイルデー

毎月11日に店内にある対象遊具等で遊んでいたいただいた売上の10%相当金額を、子ども支援や環境保全などの様々な支援活動に役立てています。その一環として、東日本大震災の被災地3県(岩手/宮城/福島)や熊本県などでは、被災地のお子さまたちに元氣とえがおをお届けする復興支援活動を継続しています。

会社概要

(2022年8月31日現在)

商号	株式会社イオンファンタジー		
本部事務所	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目6番		
ホームページ	https://www.fantasy.co.jp/company/		
設立	1969年10月(実質上の設立1997年2月)		
資本金	18億698万円		
事業内容	ショッピングセンター内「アミューズメント施設」及び「インドアプレイグラウンド」の運営		
店舗数	981店舗(連結) (日本549店舗、中国197店舗、マレーシア103店舗、タイ31店舗、フィリピン50店舗、インドネシア32店舗、ベトナム16店舗、カンボジア3店舗)※FC等を含む		
役員	代表取締役社長	藤原 徳也	
	取締役兼常務執行役員	井関 義徳	
	取締役兼常務執行役員	京極 武	
	取締役兼執行役員	田村 純宏	
	取締役兼執行役員	小岩 渉	
	取締役	藤原 信幸	
	取締役(社外)	大矢 和子	
	取締役(社外)	山下 真実	
	常勤監査役(社外)	竹垣 吉彦	
	監査役(社外)	杉本 茂次	
	監査役(社外)	岡本 紫苑	
	監査役	林 恭子	

最新のIR情報はホームページにてご覧いただけます。

<https://www.fantasy.co.jp/company/ir/>

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
基準日	期末配当、定時株主総会 2月末日 中間配当 8月末日 (そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします)
定時株主総会	5月
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 当社の公告はホームページ(https://www.fantasy.co.jp/)に掲載いたします。

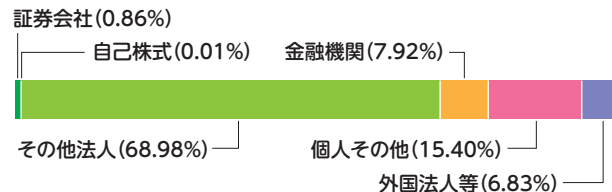
株式状況

(2022年8月31日現在)

発行可能株式総数	50,000,000 株
発行済株式の総数	19,768,825 株
株主数	16,994 名

大株主(上位10位)	当社への出資状況	
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	13,003	65.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	755	3.82
野村信託銀行株式会社(投信口)	406	2.06
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	331	1.68
MSCO CUSTOMER SECURITIES	227	1.15
GOVERNMENT OF NORWAY	213	1.08
JPLLC-CL JPY	173	0.88
UBS AG LONDON ASIA EQUITIES	130	0.66
RBC ISB LUX NON RES/DOM RATE-UCITS CLIENTS ACCOUNT-MIG	125	0.63
マックスバリュ西日本株式会社	114	0.58

所有者別株式分布状況



株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。
電話照会先	☎ 0120-782-031
上場市場	東京証券取引所プライム市場(証券コード：4343)

株主優待制度

より多くの株主さまに当社株式を継続して保有していただき、当社が運営する施設をご利用いただく機会を増やし、当社事業へのご理解をより深めていただくことを願い、株主優待制度を導入しております。

保有株式数100株以上200株未満の株主さま

2月 ○ 株主さまご優待券2,000円分
○ 魚沼産こしひかり3kg

8月 ○ 株主さまご優待券2,000円分

保有株式数200株以上300株未満の株主さま

2月 ○ 株主さまご優待券4,000円分
○ 魚沼産こしひかり3kg

8月 ○ 株主さまご優待券4,000円分

保有株式数300株以上1,000株未満の株主さま

2月 ○ 株主さまご優待券6,000円分
○ 魚沼産こしひかり3kg

8月 ○ 株主さまご優待券6,000円分

保有株式数1,000株以上の株主さま

2月 ○ 株主さまご優待券10,000円分
○ 有名ブランド米5kg、
イオンギフトカード(4,000円分)、
胡蝶蘭、飲むトマト(1,000ml)3本セットの
中からいずれか1つ

8月 ○ 株主さまご優待券10,000円分

※株主さまご優待の品物は、下記の時期を目安にお届けを予定しております。

- 胡蝶蘭 6月下旬前後
- イオンギフトカード4,000円分 8月上旬前後
- 魚沼産こしひかり、有名ブランド米 10月下旬前後
- 飲むトマト1,000ml 3本セット 10月下旬前後

株主ご優待券
対象施設

- ・ モーリーファンタジー、モーリーファンタジーf、PALO ※一部対象外のゲーム機がございます。
(メダル、メダル有料イベント、体感ゲーム、定置乗り物、メリーゴーランド、スキッズガーデン、わいわいぱーく、のびっこ、ダイナレックスチャレンジ、よくばりバス)
- ・ キッズーナ、OYUGIWA、にこはびきっず ※入場料のみでご利用いただけます。
- ・ 非対象店舗 TOYS SPOT PALO (トイズスポットパロ)、PRIZE SPOT PALO (プライズスポットパロ)、オンラインクレーンゲーム モーリーオンライン

近隣の店舗は
こちら



木を植えています
私たちはイオンです



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。